



《将来に向けた取組方針》

大林組グループは、長期ビジョン「Obayashi Sustainability Vision 2050」を策定し、2050年のあるべき姿として「地球・社会・人のサステナビリティの実現」を掲げ、生物多様性の保全や自然共生を含めた様々な要素による環境・社会・経済の統合的向上を目指して、ESG6つの重要課題として「環境に配慮した社会の形成」に取り組んでいます。「経団連生物多様性宣言・行動指針」に賛同・準拠し、今後も愛知目標に先駆け2009年に制定した当社グループの「生物多様性に関する考え方」・「生物多様性に関する方針」に則り、事業活動を通じて生物多様性の保全に努めてまいります。

《具体的取組み事例》



都市緑化により建物、人と生物が共存する場を造ることで、地域の生態系の保全・創出、都市環境の保全、地球温暖化の防止に寄与します。



▲ oak omotesando（オーク表参道）：
緑化技術で、街に生きものとのつながりをつくります



◀ なんばパークス：
都市の大規模緑化が環境共生とにぎわいの創出に貢献します

◆ メッセージ ◆

「地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現に貢献します」

◆ 課題 ◆

国土強靱化などによるインフラ整備は、生物多様性との相反性があることが課題となりますが、技術革新などにより解決を図り、取り組みを進めていきます。

◀ 赤坂インターシティ AIR：
都市に自然樹林の森、江戸の水源にゆかりある風景を再生します